

令和8年度 一学期終業式 20260721

○令和8年度1学期が今日で終了である。皆さん、あらためて、1学期はいかがだっただろう。
私自身は、昨年よりプラスとマイナスがあり、60点くらいであった。

○評価の内容としては、1学期のトピックは、合同体育祭へのチャレンジ。生徒、教員それぞれの評価はある。すべての生徒に満足を与えられなかったことは、心から反省する。しかし、合同体育祭は、プラスの評価もマイナスの評価も含めて、この富士・富士宮にとって、関わってくれた人の心に必ず残っていくし、地域における連携・協働の大切さは今後ますます増していくと思うので、この地域で生活する一人の人として、経験にしてほしいと願う。

○私の評価判断に、学校として、ひとつは、倒木を発生させてしまったこと。人的被害はでなかったが、本当に反省しなければならない。皆さんにもお詫びしたい。また、今後のことはホームページで公開するので、保護者のみなさんにもお詫びとともに、伝えてほしい。

○また、いわゆる校則を守れないなどの、生徒指導が非常に多く発生したこと。授業を大事にできていない生徒がいたこと。それに対して、真摯に向き合っていないこと。
これは、私にとって、マイナスである。自らの行為を、自らの問題として捉えることは、本当に難しい。これを自分ごとにできるかできないかは、大きく人生を左右する。その意味で、それをしっかり伝えられなかった私自身の成績は、60点か、それ以下で、昨年より反省が多くあった。

○さて、今日は、ホームページに自分で公開している、校長通信から少し話をする。

○ある塾のデータであるが、高校生の受験勉強として大学合格のために必要な時間は、高校3年間で約3,000時間であるとし、3年間の日にちを考えると1日約3時間の勉強時間が必要だそうだ。夏休みの前に盛んに聞くかもしれないデータである（夏休みにリカバリーしようという）。

○6月のウェザーニュースによると、梅雨明けから8月にかけて、チベット高気圧の張り出しが強まる時期があることが予想されており、この時期は猛暑日、暑さが一層厳しくなるようだ。また、太平洋高気圧の張り出しも強く、平均気温が平年より高く、暑い夏になりそうだという・・・。

このニュース、チベット高気圧の張り出し、太平洋高気圧の張り出し、とある。チベットは、内陸ある高気圧であり、よく地理で登場する、内陸の高気圧は、シベリアなど、冬の寒さを引き起こすときに登場するのでは？

私たちの日常は、ふと「なぜだっけ」と振り返ると、日常的に学校の授業で行っている内容が溢れている。これをいくつかの領域に分けていって、勉強しているのが、高校の教科である。

そして、日常の出来事を「なぜ」と考えてあげることができると、高校で学んでいる教科で目

指していることにつながってくると思っている（ふと、授業のことを思い出す機会を多くしてほしい）。※チベット高気圧は地表が熱をおびている。シベリア高気圧など、冷たい空気がはいてくると、フェーン現象を起こしやすくなるので、気温が地域によって上がる

○どんなことに「なぜ」と考えることが良いのか。ぜひ、夏休み前に、好きな教科または嫌いな教科を中心に先生に聞いてほしい。これが勉強を面白くして、勉強時間が有意義なものになっていくと私は思っている。

○さらに、慶應義塾大学で認知科学の教授として活躍された今井むつみ氏は、『人生の大問題と正しく向き合うための認知心理学』（日経プレミアムシリーズ）の中で、「私たちは、なんとなく「自分の見ている世界」と「隣の人が見ている世界」は同じだと思っている。しかし、認知科学によって、そもそもを探ると、同じ写真を見ている、人によって色の見え方が違うことがあることや、人は期待し予測しながらものを見ているため、文脈によって見え方が変わることから、世界は全く同じには見えていないのではないか。」という。

○これを元に、私は、この夏休みに、身の回りのことから、「なぜ？」を見つけて、友人や家族、教員でもいいので、「なぜ？」を話し合うことを勧めたい。「なんで、そうなるのかね？」と。今、学校の授業は、目標として各教科の見方・考え方を身につけさせている。

○例えば、【国語】「対象と言葉、言葉と言葉との関係、言葉の意味、働き等に注目して、捉えたり問い直したりして言葉への自覚を高める。」つまり、本を読んだり、テレビを見たりして言葉に関することに「なぜ」を見出す。

○例えば、【理科】「自然の事物・現象と、質的・量的な関係や時間的・空間的な関係などの科学的な視点で捉え、比較したり、関係付けたりするなどの科学的に探究する。」ふとした瞬間に目に入る自然に対して、「なぜ」を見出す。

○そして、今井氏のいう人と異なる世界を見ているのであれば、異なる世界を見ている人通して、「なぜ？」をお互いに共有すると、自分の学んでいることが少し鮮明になると思うのである。そんな風にして、1学期の復習や、これまでに学んだこと振り返ってもらえると学校での勉強が少し、新鮮なものに変化するのではないかな。

○教科の見方・考え方は、身の回りを見渡すことで、どんどん身につけていくこともできそうである。そのためには、自分の周囲にあるものを見渡して、どんどん「なぜ」を探してほしいのである。最も言いたいことは、高校生の夏休みは、一瞬で過ぎていく。悔いなく。そして、しっかり勉強してほしい。

（最後に）

○毎回、節目では言いたいことがある。新たな出会いを大切にしてほしいと思う。

○今年も酷暑だと言われている。熱中症にならないよう、どんな健康な時も注意。

○自転車のヘルメットは校則で着用です。保護者を悲しませることのないように。

○令和8年度第一学期終業式の校長訓話とする。